

第6回行政改革推進委員会での質問・意見等について

○第5回委員会での質問・意見等についての回答又は修正案について

頁	質問・意見	回答又は修正案
	<p>【__委員】</p> <p>○財政の見通しについて</p> <p>行財政改革プラン2016の推進に当たっては、プラン策定の段階で今後の収支の見通しを示したほうが、市民の理解を得ることができるのではないか。</p>	<p>【第6回委員会において財政課回答済】</p> <p>行財政改革プラン2016の計画期間は、プラン2013の3年から8年に変更になった。現段階では8年間の財政見通しはできていない。前期実施計画では、「大型プロジェクトの財政計画の公表」と「中長期的視点に基づく財政運営」という新しい項目を追加し、「(仮称)みと財政安心ビジョン」を公表することとしている。大型プロジェクトの事業費など明確にできないところがあり、8年間の推計を作成することは現時点では困難なため、御理解いただきたい。</p>
	<p>【__委員】</p> <p>○財政の見通しについて</p> <p>8年間の長期的な見通しではなく、中期的な財政見通しを市民に示すべきである。大型プロジェクトなどの見通しが不明確なものは、注釈をつけるなど工夫をすればよい。扶助費が伸びている中で、今後の財政収支がどのように推移していくか見通しを立てることが必要である。また、資料は、一般財源ベースではなく、普通会計ベースで作成するほうがよい。</p>	<p>【対応方針(案)】(財政課)</p> <p>中期的な財政見通しを市民に周知することは重要なことであり、資料ができた時点で公表を求めることとし、答申において、財政状況について市民にわかりやすく説明することを提言する。</p>

○第4の柱について

頁	質問・意見	回答又は修正案
24	<p>【__委員】</p> <p>○「21 中期的視点に基づく財政運営」について</p> <p>「水戸市の中期的財政見通し」は、一般財源ベースで作成されているため、特定財源はカットされており、見かけ上、実際の予算規模の2分の1となることから、予算額と大きく違うと市民が誤解する可能性がある。中期的財政見通しについても、予算と決算との一貫性を保つという意味で、市民の視点から見たときに理解しやすいように、普通会計ベースで見通しを立てるべきである。宇都宮市や千葉市では普通会計ベースで財政見通しを作成している。普通会計ベースのほうが市民の理解を得られると思う。</p> <p>⇒ 【__委員】</p> <p>財政見通しの普通会計ベースへの見直しについて意見があったものとする。</p>	<p>【財政課回答】</p> <p>中期的財政見通しを一般財源ベースで作成している理由は、市税などの一般財源は市の判断で自由に使えることができる財源であり、この見込みと用途を示すことにより今後の財政運営のあり方を表すことができると考えていることは、ご説明をしたところである。</p> <p>中期的財政見通しは、市の財政運営の指針となるものであり、予算規模を示すことよりも市税等の一般財源の用途を示すことに重点をおいて作成をしてきたところである。</p> <p>今後は、御指摘を踏まえ、より分かりやすい資料となるよう検討を行う。</p>

頁	質問・意見	回答又は修正案
29	<p>【___委員】</p> <p>○「24 社会保障制度の適正な運営」について 生活保護，生活困窮者及びひとり親家庭の就労支援について，年度計画の中で就職者数の目標値の掲載がある。これらは年度ごとの目標値なのか，それとも累計と考えるのか。また，それぞれの対象者数を把握しているか。</p>	<p>【第6回委員会において生活福祉課回答済】</p> <p>水戸市の生活保護受給世帯数は，平成27年9月末で3,857世帯であり，また，保護者数は5,234名となっている。生活保護受給者の就労支援については，毎年360名を就労させることを目標としている。</p> <p>生活困窮者への支援は，平成27年度から生活困窮者自立支援法に基づき取り組んでおり，社会福祉協議会に業務委託している。生活困窮者の相談事業，または仕事を見つければ保護に至らない方への就労支援の数の目標となっている。相談窓口は三の丸庁舎1階にある。2階には生活福祉課があり，社会福祉協議会との連携を図っている。</p> <p>【第6回委員会において子ども課回答済】</p> <p>ひとり親家庭への支援は，児童扶養手当の受給者を対象に就職支援を行い，就職につなげたいという人数を目標としている。児童扶養手当の受給者は，平成27年8月末で2,683名である。その中には就労している方もいるが，収入の水準を上げるために取り組んでいる。</p>
29	<p>【___委員】</p> <p>○社会保障制度の適正な運営について 就職者数が少ない印象がある。目標値の根拠は何か。</p>	<p>【第6回委員会において生活福祉課回答済】</p> <p>生活保護受給者における就職者数360名の目標は，平成26年度が355名，平成25年度が400数名という就職者の実績から設定した。</p> <p>【第6回委員会において子ども課回答済】</p> <p>ひとり親家庭における就職者数は，現時点では支援の実績がない。今年度から，児童扶養手当受給者の現況届の確認時に，必要に応じてハローワークへの案内をして就職につなげるなどハローワークとの連携を始めたところである。就職者数月1人のペースで数値目標を12人とした。</p>

頁	質問・意見	回答又は修正案
29	<p>【___委員】</p> <p>○「24 社会保障制度の適正な運営」について 国保税の適正化について具体的な内容を教えてほしい。</p>	<p>【第6回委員会において国保年金課回答済】</p> <p>国保税は、税率を定期的に見直しており、今年度も国民健康保険運営協議会で税率改定の検討をしている、平成29年度、平成30年度は、国保税の制度改革に伴い税率改定の検討をする予定である。</p>
30	<p>【___委員】</p> <p>○「25 外郭団体の財務体質・執行体制の改善」について 外郭団体の統合の方向性について、商業・駐車場公社と勤労者福祉サービスセンターは当面見送りと記載があるが、その経緯などを教えてほしい。 今後、他の組み合わせの可能性も検討してほしい。</p>	<p>【第6回委員会において行政改革課回答済】</p> <p>外郭団体の統合については、三つの組み合わせの統合について検討を進めてきた。その中で、商業・駐車場公社と勤労者福祉サービスセンターは、対象者が商業関係者であるため、検討してきたが、共通する事業がないなどメリットが見いだせなかったことから、見送りとしている。 公園協会とスポーツ振興協会は、今後、スポーツ振興協会が国民体育大会推進事務等で事務が増加しているため、国民体育大会が終了した後に再度検討を行うこととし、当面見送りとしている。</p>
29	<p>【___委員】</p> <p>○「25 社会保障制度の適正な運営」について 介護予防事業の実施内容の具体例を教えてほしい。</p>	<p>【第6回委員会において高齢福祉課回答済】</p> <p>介護予防事業は、元気アップステップ運動の教室、いきいき健康教室、シルバーリハビリ体操教室などの介護予防に関する教室を開催している。</p>

○第2の柱について

頁	質問・意見	回答又は修正案
8	<p>【___委員】</p> <p>○「7 地域に関わる担い手の育成」について</p> <p>地域コミュニティプランは、全地区作成に向けて努力しているところだと思うが、作成が完了していない。それぞれのプランを読むと、行事等が羅列されているだけで、推進組織や取組の具体策が掲載されていないため、どのように取り組んでいくのかがわからない。</p>	<p>【第6回委員会において市民生活課回答済】</p> <p>地域コミュニティプランは、32地区のうち未作成は残り5地区であるが、既に作成に向けての部会を開催し、作成に向けて準備を進めており、今年度末には完了予定である。</p> <p>地域コミュニティプランを地域の実情に応じて作成していく中で、細かく具体的なものよりも、おおまかに広い範囲でとらえたもののほうが、地域の方にとってはわかりやすいと考え、このような表現になっている。</p> <p>地域においては地区会の方々を中心に、プランの実現に向けて具体的に取り組んでいっており、その推移を見守るとともに、市としては、計画が実現され住みよい地区になったと実感がわくように支援をしていきたい。</p>
8	<p>【___委員】</p> <p>○「7 地域に関わる担い手の育成」について</p> <p>各地区では、防犯活動や災害対策に取り組んでいると思うが、口頭で決めているのか。それとも、次の代に引き継がれるようにマニュアル化しているのか。口頭伝承というやり方もあるが、次の世代にわかりやすく繋げるために取り組んでいることはあるのか。</p>	<p>【第6回委員会において市民生活課回答済】</p> <p>地域コミュニティプランは、紙面で内容が限られており、具体的なものになると何ページも多くなってしまうため、地域の方々に見ていただけないだろうと考えた。まずは身近なところにプランを置いて見ていただいて、自分の住んでいる地区の未来を知ってもらいたいと考えている。今回は初版であるが、これから5年後や7年後に改定版を作成するときには、より具体的な内容で、成果がわかるものにしていきたい。</p>
8	<p>【___委員】</p> <p>○地域に関わる担い手の育成について</p> <p>若い世代は、お年寄りから伝承を受けた場合に、きちんと受け継ぐのかが疑問であり、そういったところが見えてこない。世代間で引き継がれるようにしていただきたい。</p>	<p>【市民生活課回答】</p> <p>現在の地域コミュニティ組織の役員や、地域の高齢者の方々の経験や考え方に基づく、ノウハウ等は大変貴重なものと考えている。</p> <p>社会情勢の変化が大きい現在においては、活動を進めるに当たって、改善が必要な部分はあると思われるが、役員の交代時や、コミュニティプラン改定の際などにおいて、世代間できちんとノウハウ等が継承されるような仕組みについて、住みよいまちづくり推進協議会とも協議しながら検討してまいりたい。</p>

頁	質問・意見	回答又は修正案
7	<p>【__委員】</p> <p>○協働の体制づくりについて</p> <p>協働のまちづくりを推進する上では、今までの行政の実績の積み重ねに加えて、市民の感覚を生かしたまちづくりとするのが重要である。市民アンケートを年1回実施予定であるが、調査対象はどれくらいの規模で考えているのか。また、質問を誘導しないようにするなど、バランスのとれた質問にしてほしい。さらに集計は委託で行うのか。アンケートの結果はどのように生かすのか。</p> <p>⇒【__委員】</p> <p>アンケートについては、内容だけでなく、質問の順番も大事であるため、質問内容や順番に注意して作成してほしい。</p>	<p>【第6回委員会において市民生活課回答済】</p> <p>市民アンケートは、無作為抽出により2000人を対象とする。アンケートの質問は、幅広く偏らない質問としたい。また、集計方法については、委託とするのか、直営とするのか検討をしているところである。さらに、アンケート結果については、ホームページや市報などあらゆる媒体で市民の目に留まりやすいように公表に努めていく。</p>

頁	質問・意見	回答又は修正案
9	<p>【___委員】</p> <p>○「8 ボランティア団体・NPOの情報の一元化及び活用の推進」について</p> <p>ボランティア団体・NPOの情報を一元化するとあるが、どのような分野に分けられているのか。また、ボランティアの中で、福祉ボランティアだけが掲載されているのはなぜか。</p>	<p>【第6回委員会において市民生活課回答済】</p> <p>水戸市では、ボランティア情報の一元化がされておらず、例えば、市民生活課では、NPOの情報を抑えているが、NPOに入っていない他の団体については把握できていない。また、福祉ボランティアについては社会福祉協議会がまとめているが、その情報について他の所管課はわからない状況である。このように、ボランティアの情報は各課で所有しており、情報の一元化がされていないため、一元化を図るものである。</p> <p>また、福祉ボランティアは、社会福祉協議会が中心になって福祉分野で活動しており、団体数が多いため掲載している。</p> <p>一元化の方法については、平成28年度において仕組づくりや分野の分け方について各課と連携をしながら進めていく。</p> <p>【第6回委員会において福祉総務課回答済】</p> <p>福祉ボランティアは、社会福祉協議会が管理しているが、公の施設としても、福祉ボランティア会館がミオスにある。福祉ボランティア会館と合わせて、ボランティアの育成及び推進をしている。福祉ボランティア団体数は平成26年度末で112団体あり、また、登録延べ人数は5,152名が登録され活動に当たっている。</p>
9	<p>【___委員】</p> <p>○「8 ボランティア団体・NPOの情報の一元化及び活用の推進」について</p> <p>一元化した情報は、インターネットで知ることが出来るのか。</p>	<p>【第6回委員会において市民生活課回答済】</p> <p>ボランティア団体・NPOについて一元化した情報は、紙ベースでも作成はするが、迅速性や正確さから、データをインターネットで公開していく。来年度、一元化の仕組みと公開方法を検討していく。</p>

頁	質問・意見	回答又は修正案
10	<p>【__委員】</p> <p>○「9 協働事業の充実」について こみっとフェスティバルはどのようなイベントなのか。</p>	<p>【第6回委員会において市民生活課回答済】</p> <p>こみっとフェスティバルは、年1回開催しているが、市民生活課で把握しているボランティア団体、NPO団体、地域コミュニティ団体等に声かけをして、実行委員会を組織して取り組んでいる事業である。様々な団体が活動内容を発表したり、情報公開及び情報発信をするもので行っている。実行委員会は、10のボランティア団体と市民活動団体が実行委員になりたいと手をあげて、茨城大学とも連携して取り組んでいる</p>
10	<p>【__委員】</p> <p>○「8 ボランティア団体・NPOの情報の一元化及び活用の推進」について NPOは法的に法人化が義務化されているが、ボランティアは法的な規制がなく自由に設立できる。市としてボランティアの全体を把握しているのか。</p>	<p>【第6回委員会において市民生活課回答済】</p> <p>ボランティア団体は市の中でもそれぞれの所管課ごとに把握されているため、全体を把握し、情報を一元化するのが今回の取組である。</p>
10	<p>【__委員】</p> <p>○「8 ボランティア団体・NPOの情報の一元化及び活用の推進」について こみっとフェスティバルの参加団体はどうなっているのか。10団体しかいないのか。</p>	<p>【第6回委員会において市民生活課回答済】</p> <p>前述した10団体は、実行委員会に参加している団体数である。こみっとフェスティバルは、昨年度は2月にイオンモール内原で開催し、多くの団体に参加いただいた。来場者は1600人であった。</p>

頁	質問・意見	回答又は修正案
8	<p>【___委員】</p> <p>○「7 地域に関わる担い手の育成」について</p> <p>三の丸地区は、マンションが多く、町内会に加入しない人がおり、市報が届かない状況である。町内会に加入していない人達をコミュニティ推進に巻き込もうと思っても巻き込めない。特に若い世代は参加しないだろう。このような人達にどのように情報を流し、まちづくりに参加してもらうのか伺いたい。</p>	<p>【第6回委員会において市民生活課回答済】</p> <p>水戸市に限らず、年々、町内会への加入率は低下している。本市の町内会加入率は65%である。御指摘にあった若者の御近所づきあい離れも一つの要因である。</p> <p>市としては、建築士会や不動産業者を通して、入居者に資料を渡してもらうほか、マンション・アパートを建てる際には、管理会社に話をしている。また、市役所内部においては、一戸建てを建てる際は建築指導課に申請に来るため、申請時にチラシを配布したり、水戸市への転入者にもチラシを配布している。必ずしも成果につながっていないかもしれないので、今後もこのような取組を継続していく。</p> <p>今年度は、住みよいまちづくり協議会と連携して町内会加入促進月間を作り、PRに取り組んでいる。10月からは、のぼり旗を作成して、市民運動会や歩く会等の地域コミュニティ活動を行っている時など、様々なときにPR活動をしている。</p>
10	<p>【___委員】</p> <p>○「9 協働事業の充実」について</p> <p>災害時生活用水協力井戸については、水質検査を実施し許可をしているのか。</p>	<p>【第6回委員会において地域安全課回答済】</p> <p>災害時生活用水協力井戸については、平成26年度末で384基の登録があるが、申請は549基あった。飲み水には使わないが、口に入る可能性もあるので、申請に当たっては、すべての井戸について15項目の水質検査をした上で登録をするようにしている。水質基準に合わない井戸は登録ができないため、生活用水として使用して飲み続けなければ問題ない状態にはなっている。なお、登録時の水質検査のみで、飲用ではないので、水質検査を毎年しているわけではない。</p>
10	<p>【___委員】</p> <p>○「9 協働事業の充実」について</p> <p>災害時の市外、県外との協定はいくつくらい結んでいるのか。常総市での災害の件があったので取組を伺いたい。</p>	<p>【第6回委員会において地域安全課回答済】</p> <p>災害時の協定については、災害時の応援協定を結んでおり、自治体や民間企業と締結している。行政だけでは賅いきれない分野があるため、協定を結んで、民間が持っている様々な専門的な知識や技術について災害時に協力を得ることとしている。</p>

頁	質問・意見	回答又は修正案
10	<p>【___委員】</p> <p>○「9 協働事業の充実」について</p> <p>東日本大震災後、広域的な激甚災害を想定していなかったため、より遠くの自治体、あるいは、民間企業も物資を運ぶ人も必要になるということで、震災の後追いになるが、こういった形で連携を結ぶようになった。協定の内容は、ホームページで公開しているのか。</p>	<p>【第6回委員会において地域安全課回答済】</p> <p>災害時の協定の内容は、地域安全課のホームページで公開している。</p>

○第3の柱について

頁	質問・意見	回答又は修正案
11	<p>第3の柱</p> <p>【___委員】</p> <p>○「10 組織・機構の適正管理」について</p> <p>大型プロジェクトについては先読みすることが難しいと思うが、大型プロジェクトを推進する組織は一時的または特別的なものとして考えるべきであって、平常時はそういったものがないものとして、やはり組織の簡素化はきちんと進めるべきである。基本的な考えを伺いたい。</p>	<p>【第6回委員会において行政改革課回答済】</p> <p>P11で「社会経済情勢の変化、国の制度変更及び市民ニーズに柔軟に対応でき、市民に分かりやすい、簡素で効率的な組織・機構を構築する」ことを基本的な考え方としているため、御理解願いたい。</p>
11	<p>【___委員】</p> <p>○「10 組織機構の適正管理」について</p> <p>大型プロジェクトを理由にして、簡素化の影が薄くなる感じがする。大型プロジェクトを理由にして、組織が肥大化する意図が感じられる。大型プロジェクトは一時的な現象として、基本的には簡素化を強調した内容とするべきである。</p>	<p>【第6回委員会において行政改革課回答済】</p> <p>大型プロジェクトの推進体制は整っている。今後の組織体制の検討が必要なところは、国民体育大会の開催準備や中核市への移行に伴う執行体制の整備であるため、限定して掲載している。</p> <p>【対応方針（案）】（行政改革課）</p> <p>組織・機構の適正管理に当たっては、国民体育大会の開催準備や中核市への移行に伴う執行体制を除いて、簡素化することを基本として取組を推進することを答申本文で提言する。</p>

頁	質問・意見	回答又は修正案
	<p>【___委員】</p> <p>○「11 職員定数の適正管理」について</p> <p>これまでは、4年間で100人の削減を目標としてきたが、52人の削減に留まっている。今後は大型プロジェクトに付随して、今までの削減の流れとは反対の方向に進もうとしている印象がある。</p>	<p>【対応方針（案）】（行政改革課）</p> <p>職員定数の適正管理に当たっては、国民体育大会の開催準備や中核市への移行に伴う執行体制の整備を除いて、削減することを基本として取組を推進することを答申本文で提言する。</p>
12	<p>【___委員】</p> <p>○「11 職員定数の適正管理」について</p> <p>他の市の状況を見ると、職員定数の適正化がかなり進んでいる。水戸市も一生懸命やっていることは認めるが、他の市はもっと頑張っている。それが市民のためになっているかを確認する必要がある。水戸市は人口が27万人くらいであるが、中核市になったときに、どれくらいの規模の人数が適正なのかを検討していただきたい。</p> <p>⇒【___委員】</p> <p>職員削減は進める必要があるが、サービスの低下を招かないようにしていただきたい。また、地方創生などについても影響がないようにしていただきたい。</p>	<p>【行政改革課回答】</p> <p>中核市に移行し、より良い市民サービスを提供するため、移譲事務を精査した上で、必要な人員を適切に配置していく。</p> <p>また、職員定数の適正化に当たっては、市民サービスの維持・向上に十分配慮するとともに、各課における地方創生の施策の推進体制に留意する。</p>
13	<p>【___委員】</p> <p>○「12 公共施設等総合管理計画の策定」について</p> <p>具体的にどこの施設が老朽化しているのか。</p>	<p>【第6回委員会において財産活用課回答済】</p> <p>施設の老朽化について、具体的な施設の調査までは行っていない。今後、調査を進め、それを元に現状分析をする。なお、本市で所有する建物は、平成26年度末現在で約1500棟ある。そのうち築30年以上の建物は760棟で全体の約51%（うち30年以上39年の建物は533棟で全体の約36%）、20年以上29年は458棟で全体の約31%である。これらの施設が更新時期を迎えていくことから、公共施設等の最適な配置を検討し、財政負担の軽減・平準化を図っていく。</p>

頁	質問・意見	回答又は修正案
18	<p>【___委員】</p> <p>○「18 公の施設の管理運営に係る民間活力活用の推進」について</p> <p>新市民会館の方針の決定とは、どんな人達で決めるのか。市の職員や議会が決めるのか。また、民間活力活用とは運営だけの委託なのか。</p>	<p>【第6回委員会において文化交流課回答済】</p> <p>新市民会館は、今年度、管理運営基本計画を策定しているところであり、専門家に意見をいただきながら進めている。事業の内容や運営のあり方について、広く市民の意見を聴くために、各種団体ヒアリング、市民アンケート、市民ワークショップを実施しており、これらの意見についても、管理運営基本計画に反映しながら、方針を決定していく。</p>
18	<p>【___委員】</p> <p>○「18 公の施設の管理運営に係る民間活力活用の推進」について</p> <p>市民会館は、これまで市役所の脇にあって市役所の一部であったが、今後はまちの中になるので、運営の面でも人事の面でも民間に任せるのがよいと思う。市役所の手から離れ、まちの人達が主役になるようなほうがよい。</p>	
20	<p>【___委員】</p> <p>○「18 公の施設の管理運営に係る民間活力活用の推進」について</p> <p>過去に全庁的に民間活力活用についての募集を実施しているが、なかなか提案が出てこなかった。従来のやり方と何か変わっているのか。</p>	<p>【第6回委員会において行政改革課回答済】</p> <p>全庁的な民間活力活用の募集については、平成23年度に実施し5件ほど提案があり、そのうち2件が達成に至っている。プラン2013においても、調理業務等の委託を推進したところである。</p> <p>これまで民間活力の活用を推進してきたところであるが、他にどういった事務事業が委託できるのか全庁的に提案を受けないと企画ができないため、提案を募集する。</p>
21	<p>【___委員】</p> <p>○「18 公の施設の管理運営に係る民間活力活用の推進」について</p> <p>市民センターは、管理運営まで委託するという事なのか。</p>	<p>【第6回委員会において市民生活課回答済】</p> <p>市民センターは、全体で31あり、課長補佐級の所長1名と嘱託員が平均すると3名がおり業務を行っている。市民センターでは、施設の維持管理、地域コミュニティ活動の推進、生涯学習活動の推進、さらには地域防災の拠点として、業務を行っている。年度計画については、28年度及び29年度で検討をしていき、30年度に方針を決定するが、施設の維持管理を委託するのか、また、ソフトまで委託するのかについては、28年度及び29年度の検討の中で決めていきたい。</p>

頁	質問・意見	回答又は修正案
21	<p>【__委員】</p> <p>○「18 公の施設の管理運営に係る民間活力活用の推進」について 議会の議決は必要か。</p>	<p>【第6回委員会において行政改革課回答済】</p> <p>指定管理者制度の導入に当たっては、条例の改正が必要であるため、議会の議決が必要である。</p>
13	<p>【__委員】</p> <p>○「13 保育所・幼稚園の適正配置」について 保育所・幼稚園の適正規模・適正配置方針は、策定されるのか。</p>	<p>【第6回委員会において幼児教育課回答済】</p> <p>保育所・幼稚園の適正規模・適正配置方針は、今年度策定見込みである。</p>
13	<p>【__委員】</p> <p>○「13 保育所・幼稚園の適正配置」について 幼稚園の充足率は50%であり、保育所はまだ不足の状況となっており、このアンバランスをどうするかについて対策も織り込まれるのか。</p>	<p>【第6回委員会において幼児教育課回答済】</p> <p>保育所・幼稚園の適正規模・適正配置方針の中でベストバランスについて検討していく。</p>

第1の柱

頁	質問・意見	回答又は修正案
3	<p>【__委員】</p> <p>○「2 水戸の魅力発信及び行政情報提供の充実」について これまでも様々な情報発信をしているが、どの程度の効果があったのか。検証はされているのか。 ⇒【__委員】 今後は、KPIなどの設定も検討いただきたい</p>	<p>【第6回委員会においてみとの魅力発信課回答済】</p> <p>みとの魅力発信については、実際のところソフト事業であるため、効果について検証はしていない。 ミトノートでは、読者アンケートを実施し、水戸市に興味を持ったか、行ってみたいかなどの質問をした。今年度は、広報みとについて掲載内容の読者アンケートも実施していきたい。</p>

頁	質問・意見	回答又は修正案
3	<p>【___委員】</p> <p>○「2 水戸の魅力発信及び行政情報提供の充実」について 先日、テレビを拝見したら、里見浩太郎が水戸の紹介をしていて、羊かん屋がテレビで紹介され、人気が出ているようだ。銚子屋のジュースも人気である。テレビは発信力がある。</p>	<p>【対応方針（案）】（みとの魅力発信課）</p> <p>みとの魅力の発信に当たっては、テレビをはじめとした様々な媒体を活用し、さらなる情報発信に努めることを答申本文で提言する。</p>
3	<p>【___委員】</p> <p>○「2 水戸の魅力発信及び行政情報提供の充実」について ___委員と同様の番組を見たが、市長も挨拶で出演していた。そこで、偕楽園を西の谷公園から入るルートが紹介されていたが、初めて知った。テレビの効果を感じた。</p> <p>戦略的な広報活動を推進するとしているが、中身を伴った情報発信をしていってほしい。どうすればお客さんの目をひくのか研究する必要がある。テレビはお金がかかる。ミトノートは、本当に水戸のファンになっている人にとってはいい情報である。水戸の魅力度の調査は、今まで200番台から100番台に上がってきており、成果が上がってきている。</p> <p>水戸の魅力はどこに魅力があるのかを整理してほしい。</p>	
6	<p>【___委員】</p> <p>○「5 中核市移行の推進」について 年度計画の中で、28年度が移譲事務の整理、29年度以降が準備となっているが、移行時期は明確になっていない。</p> <p>例えば、保健所のあり方の整理は問題である。移行時期をいつまでに明確にするのか。また、移譲事務、専門職の確保、PR方法などをどうするのか。</p>	<p>【第6回委員会において行政改革課回答済】</p> <p>保健所のあり方について、県と協議をはじめたところである。保健所のあり方によって、移行時期が決定になる。新たに土地を購入して、保健所を建てるには5年かかる。移行時期が明確になったら、そこから逆算するかたちでスケジュールは決まっていく。移行までの実施内容はリストアップできているため、いつ移行するかが明確になればスケジュールも決まる。実施状況の中で明確にしていきたい。</p>

頁	質問・意見	回答又は修正案
3	<p>【___委員】</p> <p>○「2 水戸の魅力発信及び行政情報提供の充実」について 広報みとに事業者のことを掲載しているが、事業所のPRと行政情報で量が多い時はどのように判断して掲載しているのか。</p>	<p>【第6回委員会においてみとの魅力発信課回答済】</p> <p>広報みとへの広告掲載については、有料広告になる。毎年2月に募集をとりまとめしている。内容については、庁内に照会をかけて審議するようにしている。</p>
5	<p>【___委員】</p> <p>○「4 市民意見の反映」について 従来は附属機関の公募委員の割合を20%とする目標としていたが、それは現在も変わっていないのか。</p>	<p>【第6回委員会において行政改革課回答済】</p> <p>公募委員の割合については、行財政改革プラン2010に掲載し、目標を達成したところであるが、現在の公募割合は19.6%に止まっている。 行財政改革プラン2016においては、法律で委員が決定されているところを調査した上で、それ以外を原則公募とするように見直しをかけるものである。</p>
5	<p>【___委員】</p> <p>○「4 市民意見の反映」について 附属機関は全体でいくつあるのか。</p>	<p>【第6回委員会において行政改革課回答済】</p> <p>附属機関は、休止している機関も含めて72ある。</p>
5	<p>【___委員】</p> <p>○「4 市民意見の反映」について 基本的にすべての附属機関に公募委員を入れるようになるのか。法律で規制されている機関を除くと何機関あるのか。</p>	<p>【第6回委員会において行政改革課回答済】</p> <p>行財政改革プラン2016の中で、法律で規制されているものを除いて公募とする。今後、附属機関を調査して精査する。</p>